

科目名	特別演習（卒業必修）				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2022年度 前期～後期	単位数	2		
担当教員	久保 美由紀				
内容および計画	履修者一人ひとりが、関心をもつ生活問題・福祉問題について①調べること、②まとめること、③報告することを通して、研究的思考を身に付けていけるよう意識して取り組む演習です。また、「現場」に出向き「現場」から学ぶことにより、生活問題・福祉問題の実態を知ること大切な機会ですので、可能な限りフィールドに出る時間を確保して取り組みます。さらにこれらの活動を最終的には、卒業論文等何かしらの冊子としてまとめ上げ、一つの成果とします。				
1	演習クラス運営に関する話し合い				
2	各自の問題関心についての報告①				
3	各自の問題関心についての報告②				
4	フィールドワーク実践に関する打ち合わせ①				
5	フィールドワーク実践の企画案の作成①				
6	フィールドワーク実践の企画案の作成②				
7	フィールドワーク実践に関する打ち合わせ②				
8	フィールドワーク実践の企画案の修正				
9	フィールドワーク実践の実施準備①				
10	フィールドワーク実践の実施準備②				
11	卒論・レポートの書き方についての学習				
12	各自の問題関心についての報告③				
13	各自の問題関心についての報告④				
14	フィールドワーク実践①				
15	フィールドワーク実践のふりかえり①				
16	フィールドワーク実践②				
17	フィールドワーク実践のふりかえり②				
18	フィールドワーク実践③				
19	フィールドワーク実践のふりかえり③				
20	各自の問題関心にもとづく取り組み状況の報告①				
21	各自の問題関心にもとづく取り組み状況の報告②				
22	フィールドワーク実践に関する打ち合わせ③				
23	フィールドワーク実践の企画案の作成③				
24	フィールドワーク実践の実施準備③				
25	フィールドワーク実践④				
26	フィールドワーク実践のふりかえり④				
27	まとめの執筆内容の確認、執筆①				
28	まとめの執筆内容の確認、執筆②				
29	まとめの執筆内容の確認、執筆③				
30	まとめの執筆内容の確認、執筆④				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

初回時に話をします。				
参考書	適宜紹介します。			
成績評価				
評価方法				割合(%)
卒業論文等の執筆・提出				50
課題への取り組み状況				50
学習到達目標	研究的思考を身につけられるよう、各自が主体的に取り組む。 成果として卒業論文等の冊子を完成させる。			
先修条件				
実務経験				
その他	必要に応じ、時間割上に設定されている時間以外の活動もあります。また、自らで考え、行動することを基本としながら学習するよう心がけてください。			